

**「キリン一番搾り 糖質ゼロ」、  
発売からわずか1カ月で100万ケース<sup>※1</sup>を達成！  
販売好調を受け、年間販売目標を当初予定の約3割増にあたる  
約160万ケース<sup>※1</sup>に上方修正！**

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、国内で初めて<sup>※2</sup>ビールカテゴリーで「糖質ゼロ<sup>※3</sup>」を実現し、10月6日（火）に発売した「キリン一番搾り 糖質ゼロ」の販売数量が、発売から1カ月で100万ケースを達成し、年間販売目標である約120万ケースの8割を突破しました。1カ月で100万ケースという販売数量は、過去10年間に発売した当社ビールカテゴリー新商品の中で最高となりました。

この販売好調を受け、年間販売目標も当初予定の約3割増となる約160万ケースに上方修正します。

※1 大びん換算

※2 ビールで糖質ゼロを実現した国内で初めての商品(Mintel GNPDを用いた当社調べ)

※3 100ml当たり糖質0.5g未満のものに表示可能（食品表示基準による）

「キリン一番搾り 糖質ゼロ」は、「一番搾り製法<sup>※4</sup>」による“雑味のない澄んだ麦のうまみ”と、約5年の歳月をかけて350回以上の試験醸造を重ね、キリンビールの技術力を結集させることで、国内で初めてビールカテゴリーで「糖質ゼロ」を実現した商品です。

発売以降、Twitter 上では当商品に関する2.3万件以上の投稿があり、多くの方からポジティブなコメントをいただいています。

また、当商品購入者の約7割<sup>※5</sup>が発泡酒・新ジャンル商品の購入者であることが分かりました。これはビールカテゴリーが減税となった酒税改正期に、糖質を気にしてビールから離れていたお客様が再びビールに関心を持ち、トライアル購入につながった結果だと考えられます。

※4 麦汁ろ過工程において最初に流れ出る一番搾り麦汁を使う製法

※5 インテージ SCI 調べ（2020年10月5日（月）～10月25日（日））

「キリン一番搾り 糖質ゼロ」の発売により、お客様のビールカテゴリーへの関心は高まりつつあります。当社は、フラッグシップブランドである「キリン一番搾り生ビール」や「キリン一番搾り 糖質ゼロ」を通して、お客様がビールカテゴリーに魅力を感じ、さらにビールカテゴリー市場が活性化するような取り組みを続けていきます。

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。



記

- |            |                            |
|------------|----------------------------|
| 1. 商品名     | 「キリン一番搾り 糖質ゼロ」             |
| 2. 発売地域    | 全国                         |
| 3. 発売日     | 2020年10月6日（火）              |
| 4. 容量・容器   | 350ml 缶、500ml 缶            |
| 5. 価格      | オープン価格                     |
| 6. アルコール分  | 4%                         |
| 7. 酒税法上の区分 | ビール                        |
| 8. 販売予定数   | 約160万ケース（20,000KL）※大びん換算   |
| 9. 製造工場    | キリンビール取手工場、名古屋工場、岡山工場（3工場） |



以上